

## 高瀬堰主ゲート設備における破損の 原因及び再発防止策について

令和 3 年 9 月に発生した太田川河川事務所が管理する高瀬堰 2 号主ゲート主ローラ（右側下部）の破損の原因及び再発防止策についてお知らせします。

### 【破損の原因】 図-1

閉作動時に偶発的に主ローラ（下部）に流介物（石、岩、流木など）が挟まれたことにより、取付ボルトに上向きと下向きの力が作用し、取付ボルトの強度限界を超えたと思われ、取付ボルトが折れ脱落に至った。

### 【対応状況】

強度を高めた取付ボルトに交換します。

※ 1 号～3 号ゲートは、令和 4 年 2 月に交換を実施しました。

4 号～6 号ゲートは、令和 4 年 1 1 月以降に順次交換します。

### 【再発防止策】

下記内容を実施し、再発防止に努めます。

- ① 潜水土又は水中小型カメラ等による近接目視点検を行います。
- ② 扉体（水門）の閉作動中に異常停止があった場合、開操作を行い流介物の挟み込み等が無い事を確認した後に閉操作を行います。

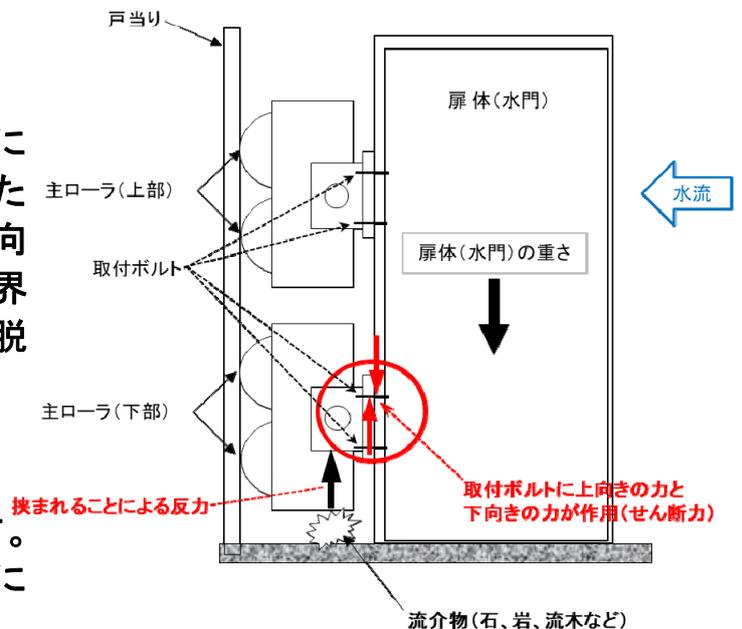
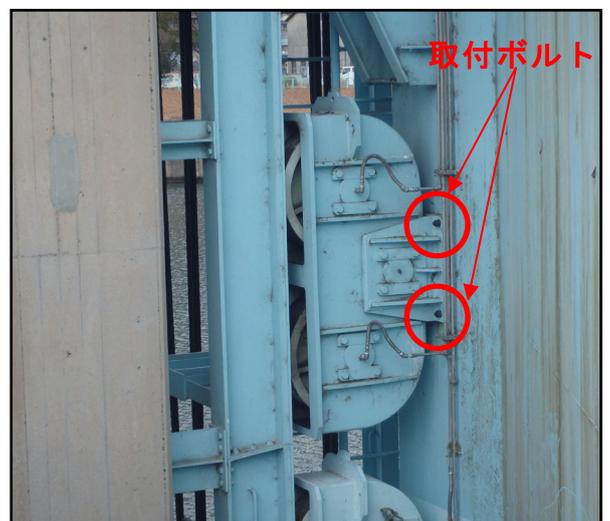


図-1 流介物が挟まれた状況



ボルト交換後（塗装前）